

広島市立大学国際学部主催

公開外交講座「日本の外交と海洋安全保障」

2018年6月29日（金）16:20～17:50

場所：講義棟 502号教室



近年、日本の外交において海洋安全保障がとても重要になっています。特に、中国が海洋進出を強め、南シナ海ではここ数十年で最も緊張が高まっています。また、日本は海洋安全保障構想として「インド太平洋」協力の重要性を訴えてきています。そのような中、外務省の担当課のトップとしてこれらの問題に陣頭指揮をとっている浪岡講師をお招きして、南シナ海問題の本質、中国や米国の意図と戦略、そして、日本の戦略と政策につき、語っていただきます。

この外交講座は、「国際関係論」講義の一環として行われ、TVや新聞ではわからない政府中枢の生の声を聴く貴重な機会です。「外務省ではどのように政策を策定しているのか」、「米国や中国とはどのようなやり取りがなされたのか」など普段では聞けない裏話が聞けます。また、皆さんの素朴な質問にも、浪岡講師が丁寧に答えてくださります。受講生以外の聴講も大歓迎ですので、ぜひ、皆さんのたくさんの参加をお待ちしております！！

講師プロフィール：

浪岡大介 外務省総合政策局海上安全保障政策室長：1992年外務省入省。米国研修後、在米国日本大使館で勤務。その後、アジア大洋州局大洋州課、東南アジア諸国連合日本政府代表部などを経て現職。

連絡先：国際学部 西田竜也研究室

Tel: 082-830-1024(内線 3632)

E-mail: nishida@hiroshima-cu.ac.jp